

(様式1)

「家庭学習MGC」実践例

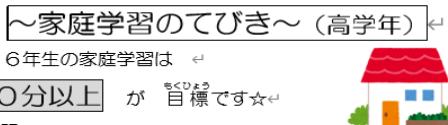
西姶良小学校

○ 家庭学習の基本的な考え方

★ 低学年40分、中学年60分、高学年90分を目安として、年度初めに配付する「家庭学習のてびき」を参考にしながら、継続して家庭学習に取り組む。

★ 漢字練習、自学（宅習）、プリント学習、ドリル、日記、音読練習、テストやり直しなど、学習の進み具合に合わせて、学習の定着を図る事を目的にバランス良く取り組む。

★ 宿題以外の学習にも積極的に取り組む。



5・6年生の家庭学習は
90分以上が目標です☆

1 日記

- 「題」を決めて、自分の伝えたいことや自分の気持ちを、はっきりと分かるように書きます。←
- ていねいに見やすい字で、豊富の今まで書きます。←

く「書く内容」を決めるときは…

- 家や学校であったことで、楽しかったことややられしかったこと
- 学校で勉強したことで、心に残ったこと
- 新聞やテレビを見て、知ったことやおもしろいと思ったこと、不思議だなと思ったこと
- 読書をして思ったこと
- 先生にうそついたいこと

2 漢字練習

- 漢字は、「とめ」「はね」「はらい」や「書き順」に矢印を付けて書きます。←
- 分からぬときは、教科書やドリルを見たりして、おうちの人聞いて、先生に質問したりします。←
- 終わったら必ず見直しを行い、まちがいは正しくやり直します。←

3 宿題

- 普段ドリルの問題をノートにしたり、教科書の問題やテストで提出した問題をノートにしたりします。←
- 答え合わせができるときは自分で行い、間違ったところはできるまでやり直しをします。←
- 教科書の大本などは、色分けをしたり、図や表をかいてまとめます。←

4 プリント

- 最後まで取り組み、分からないときは、教科書などを見て調べて問題を解きます。←

5 音読

- 国語の教科書を読みます。←
- 「声の大きさ」や「はいさぎ」に気をつけて、すらすら読めるようにくりかえし練習します。←

6 読書

- 「1年間に80冊以上」を目標に、読書をします。←

7 筆箱の準備

- 教科書…ノート ○ 下書き
- えん筆6本(2B・B)…家で買ります。←
- 赤ペン ○ 青ペン ○ 消しゴム ○ じょうき

☆宿題以外に「自分の学習」にも取り組みます。↓

高学年は、宿題だけでなく、自分で計画立てて継続して学習に取り組むことで、学習の仕方が身につき、学力も高まります。学力が高まるほど、大きな自信になり、「やる気」も高まります。次のことを参考にして、宿題ノートを使って、計画的に学習に取り組みましょう。↓

○ MGCの取組

【小学3年生 国語のMGC】

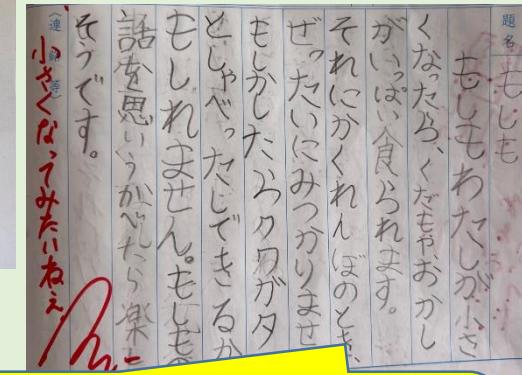
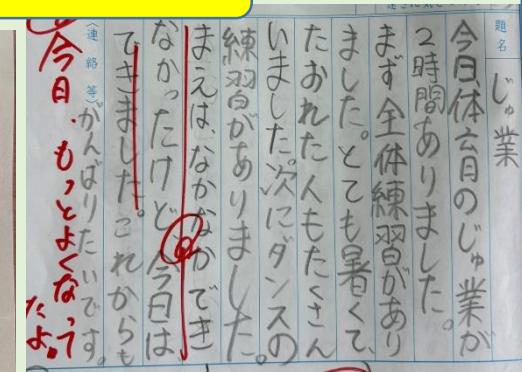
「書く力を高めるための、多様な日記の取り組み方」

—「マイゴールチャレンジ」—

○ 「日記のテーマ」を活用して、いろいろなテーマで読む人が分かりやすい文章で日記が書けるようになる。

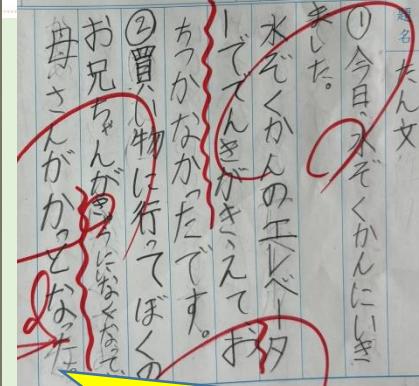
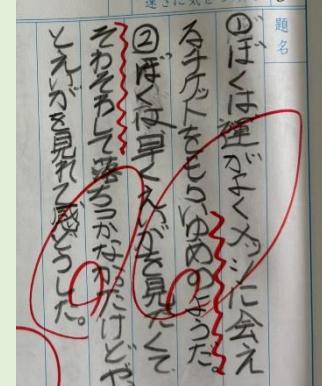
テーマは教師が指定したり、自分で選んだりして決める。

日記のテーマ		3・4年
1	家ぞく	
2	友だち	
3	授業	
4	休み時間	
5	気持ち	「言葉のたから箱」
6	行事	
7	会話	
8	しうかい	
9	もしも	楽しいうそ日記
10	相談	先生に聞いてほしい!
週1	短文づくり	「言葉のたから箱」



週に1回、国語の教科書(光村図書)の巻末にある「言葉のたから箱」を活用し、短文作りで使った言葉は印をつけていく。

意味や使い方が分からぬ言葉は、国語辞典を活用し、調べてから短文を作る。



保護者にも協力を仰ぎ、添削や短文作りのアドバイスをしてもらう。学校では教師が添削し、正しい文章になるまでやり直しをさせる。上は、テーマ3「授業」、下はテーマ9「もしも」の日記。

短文の中に、「主語」「述語」を必ず入れるようにする。また、なるべく、くわしい文章になるように修飾語も多用させる。